

2020 辰巳司法試験全国公開模試ガイダンス

令和2年司法試験考査委員名簿から選定した危ないテーマとその対応方法

令和2年3月14日（土）

辰巳法律研究所 宇野良一

（スタ論・全国公開模試等担当）

1 総論

(1) 司法試験及び予備試験考査委員の現状

- ・司法試験必須科目と予備試験法律基本科目の出題委員は、原則として兼務。
- ・法科大学院教員は、連続3年まで出題委員に就任可能。
- ・論文式試験問題作成は、法科大学院教員である学者委員が主導か？

→宇野「2020スタンダード論文答練第2クール出陣特別講演会 令和2年司法試験考査委員名簿を踏まえたお薦めのスタ論予習・復習用教材」参照。

<https://www.youtube.com/watch?v=WZw5EiYcDQ8>

(2) 採点基準表について

法務省は一切公開していないが、採点項目などは詳細に作成されていると思われる。なぜなら、公表されている司法試験の出題の趣旨と採点実感には、各論点・事実について非常に詳細に掲載されているからである。

2 科目別の危ないテーマとその対応方法

※肩書の後の括弧内に、当該考査委員が司法試験と関係する分野のうち特に強い関心を有していると思われるものを記す。

(1) 憲法

<令和2年主要考査委員とその関心分野>

- ・小山 剛 慶應義塾大学法学部教授（私人間効力，営業の自由）
- ・宍戸常寿 東京大学大学院法学政治学研究科教授（表現の自由，情報法，違憲審査制）
- ・野坂泰司 学習院大学専門職大学院法務研究科教授（信教の自由，政教分離）
- ・松本哲治 同志社大学大学院司法研究科教授（経済的自由権，自己決定権）

<危ないテーマと対応方法>

（憲法判例対策）

- ・長谷部恭男「公務員による政党機関紙の配布一掘越事件」憲法判例百選Ⅰ（第7版）P.30～31

令和2年司法試験考査委員名簿から選定した危ないテーマとその対応方法

- ・糠塚康江「女性の再婚禁止期間の合憲性」憲法判例百選Ⅰ（第7版）P. 64～5
- ・中林暁生「公立図書館の蔵書と著作者の表現の自由」憲法判例百選Ⅰ（第7版）P. 153～4
- ・金澤 孝「集会の自由と市民会館の使用不許可―泉佐野市民会館事件」憲法判例百選Ⅰ（第7版）P. 175～6
- ・西村裕一「条例の広範性―広島市暴走族追放条例事件」憲法判例百選Ⅰ（第7版）P. 182～3
- ・石川健治「薬事法違憲判決」憲法判例百選Ⅰ（第7版）P. 198～200
- ・松本哲治「証券取引法164条1項の合憲性」憲法判例百選Ⅰ（第7版）P. 210～211
- ・野坂泰司「在外日本国民の選挙権」憲法判例百選Ⅱ（第7版）P. 318～9
- ・穴戸常寿「宗教上の教義に関する紛争と司法権―『板まんだら』事件」憲法判例百選Ⅱ（第7版）P. 400～401

（信教の自由・政教分離）

- ・平成19年新司法試験論文式試験公法系科目第1問
- ・平成24年司法試験論文式試験公法系科目第1問
- ・令和元年予備試験論文式試験憲法

（司法権・憲法訴訟）

- ・新井誠・曾我部真裕・佐々木くみ・横大道聡『憲法Ⅰ 総論・統治』（日評ベーシック・シリーズ）（日本評論社，2016）P. 170～207（曾我部真裕執筆）

(2) 行政法

<令和2年主要考査委員とその関心分野>

- ・北村和生 立命館大学大学院法務研究科教授（国家賠償請求）
- ・木村琢磨 千葉大学大学院社会科学研究院教授（財政法，住民訴訟）
- ・清水知恵子 東京地方裁判所判事
- ・山田 洋 一橋大学名誉教授・獨協大学法学部教授（環境行政）

<危ないテーマと対応方法>

（全 体）

- ・曾和俊文・野呂充・北村和生編著『事例研究 行政法』（日本評論社，第3版，2016）P. 1～130
「第1部 行政法の基本課題」

（原告適格）

- ・清水知恵子「判解」『最高裁判所判例解説民事篇（平成26年度）』（法曹会）P. 313～339
産業廃棄物の最終処分場の周辺住民が産業廃棄物処分業及び特別管理産業廃棄物処分業の許可処分の無効確認訴訟並びに上記各処分業の許可更新処分の取消訴訟の原告適格を有するとされた最判平26. 7. 29民集68-6-620の調査官解説。

(3) 民法

<令和2年主要審査委員とその関心分野>

- ・石田 剛 一橋大学大学院法学研究科教授（債権譲渡禁止特約）
- ・沖野眞己 東京大学大学院法学政治学研究科教授（契約の解釈）
- ・前田陽一 立教大学大学院法務研究科教授（不法行為法，親族・相続法と財産法との交錯領域）
- ・横山美夏 京都大学大学院法学研究科教授（二重譲渡，手附）

<危ないテーマと対応方法>

（民法総則・物権法）

- ・千葉恵美子・潮見佳男・片山直也『Law Practice 民法Ⅰ 総則・物権編』（商事法務，第4版，2018）
 - 「11 民法94条2項類推適用とその限界①」P.73～7（武川幸嗣執筆）
 - 「12 民法94条2項類推適用とその限界②」P.78～82（武川幸嗣執筆）
 - 「21 表見代理：110条」P.142～7（大久保邦彦執筆）
 - 「22 無権代理と相続」P.148～155（金子敬明執筆）
 - 「30 所有権の移転時期」P.202～6（七戸克彦執筆）
 - 「36 民法177条の第三者の範囲」P.239～245（松岡久和執筆）
 - 「49 抵当権に基づく明渡請求」P.325～330（片山直也執筆）
 - 「55 不動産譲渡担保①」P.363～8（古積健三郎執筆）
 - 「56 不動産譲渡担保②」P.369～376（池田雅則執筆）

（債権法）

- ・千葉恵美子・潮見佳男・片山直也『Law Practice 民法Ⅱ 債権編』（商事法務，第4版，2018）
 - 「6 特定物売買と手付」P.33～7（松井和彦執筆）
 - 「9 債務不履行における損害賠償の範囲」P.52～9（白石友行執筆）
 - 「10 解除の要件」P.60～67（荻野奈緒執筆）
 - 「11 解除と原状回復・損害賠償」P.68～73（渡辺達徳執筆）
 - 「15 売買目的物の種類・品質に関する契約不適合責任」P.92～8（石川博康執筆）
 - 「27 表見受領権者に対する弁済」P.174～9（潮見佳男執筆）
 - 「30 相殺の担保的機能」P.197～203（深川裕佳執筆）
 - 「37 債権譲渡禁止特約」P.248～255（石田剛執筆）
 - 「42 不当利得：給付利得」P.281～7（藤原正則執筆）
 - 「43 不当利得：侵害利得」P.288～294（藤原正則執筆）
 - 「51 責任能力と監督義務者責任」P.338～346（中原太郎執筆）

(親族・相続法)

- ・前田陽一・本山敦・浦野由紀子『民法VI 親族・相続』(有斐閣, 第5版, 2019)
 - 「日常家事債務の連帯責任」P. 72～4
 - 「利益相反行為」P. 180～183
 - 「遺産共有とその対象」P. 309～319
 - 「遺産分割」P. 324～344

(4) 商法

<令和2年主要考査委員とその関心分野>

- ・伊藤雄司 上智大学法学部教授(取締役等の第三者に対する責任)
- ・神作裕之 東京大学大学院法学政治学研究科教授(競業避止義務, コーポレート・ガバナンス)
- ・久保田安彦 慶應義塾大学大学院法務研究科教授(新株予約権)

<危ないテーマと対応方法>

- ・高橋美加・笠原武朗・久保大作・久保田安彦『会社法』(弘文堂, 第2版, 2018)
 - 「株式の準共有」P. 87～91
 - 「利益相反取引」P. 193～201
 - 「取締役の第三者に対する責任」P. 222～230
 - 「募集株式の発行等」P. 269～315
 - 「企業買収・再編」P. 447～515
 - 「親子会社」P. 516～531
- ・久保田安彦・舩津浩司・松元暢子『会社法判例40!』(有斐閣, 2020)

(5) 民事訴訟法

<令和2年主要考査委員とその関心分野>

- ・安西明子 上智大学法学部教授(文書提出命令, 訴訟承継)
- ・笠井正俊 京都大学大学院法学研究科教授(裁判官の裁量と当事者の行為の規律)
- ・勅使川原和彦 早稲田大学法学学術院教授(適時提出主義)

<危ないテーマと対応方法>

- ・三木浩一・笠井正俊・垣内秀介・菱田雄郷『民事訴訟法』(リーガルクエスト)(有斐閣, 第3版, 2018)
 - 「弁論主義」P. 200～222
 - 「証明責任」P. 263～283

- 「既判力の時的限界」 P. 428～435
- 「既判力の客体的範囲」 P. 435～443
- 「一部請求」 P. 443～449
- 「既判力の主体的範囲」 P. 449～464
- 「固有必要的共同訴訟」 P. 548～553
- 「独立当事者参加」 P. 577～587

(6) 刑法

<令和2年主要考査委員とその関心分野>

- ・成瀬幸典 東北大学大学院法学研究科教授（文書偽造罪）
- ・橋爪 隆 東京大学大学院法学政治学研究科教授（正当防衛）
- ・松原芳博 早稲田大学大学院法務研究科教授（責任論）

<危ないテーマと対応方法>

- ・井田良・佐伯仁志・橋爪隆・安田拓人『刑事事例演習教材』（有斐閣，第2版，2014）
 - 「4 黄色点滅信号」 P. 14～9（自動車運転死傷処罰法，過失犯など）
 - 「6 カネ・カネ・キンコ」 P. 24～30（間接正犯，共同正犯，教唆犯など）
 - 「7 男の恨みは夜の闇より深く」 P. 31～4（不法領得の意思など）
 - 「16 哀しき親子」 P. 74～8（正当防衛など）
 - 「22 泥酔した常連さん」 P. 104～9（原因において自由な行為など）
 - 「24 警部補のおねだり」 P. 116～121（賄賂罪など）
 - 「31 招かれざる客」 P. 151～5（共謀の射程，承継的共犯など）
 - 「42 改ざんされた試験結果・その2」 P. 208～214（文書偽造罪など）
 - 「47 『母さん，僕だよ』」 P. 239～244（振り込め詐欺）

(7) 刑事訴訟法

<令和2年主要考査委員とその関心分野>

- ・小木曾綾 中央大学大学院法務研究科教授（GPS捜査）
- ・佐藤隆之 慶應義塾大学大学院法務研究科教授（在宅被疑者の取調べ，おとり捜査）
- ・堀江慎司 京都大学大学院法学研究科教授（訴因論，伝聞法則）

＜危ないテーマと対応方法＞

- ・宇藤崇・松田岳士・堀江慎司『刑事訴訟法』（リーガルクエスト）（有斐閣，第2版，2018）
 - 「強制処分法定主義」P. 38～46
 - 「令状主義」P. 46～9
 - 「身体拘束中でない被疑者の取調べ」P. 104～9
 - 「令状による捜索・差押え」P. 120～139
 - 「令状によらない捜索・差押え」P. 139～146
 - 「強制採尿」P. 155～160
 - 「おとり捜査，泳がせ捜査」P. 180～185
 - 「伝聞証拠の証拠能力」P. 370～416
 - 「違法収集証拠の証拠能力」P. 416～432
 - 「自白の証拠能力と証明力」P. 432～456
- ・金築誠志「伝聞の意義」刑事訴訟法判例百選（第5版）P. 178～181
- ・堀江慎司「伝聞証拠の意義」井上・酒巻編『刑事訴訟法の争点』（有斐閣，2013）P. 166～9
- ・古江頼隆『事例演習刑事訴訟法』（有斐閣，第2版，2015）
 - 「28 違法収集証拠排除法則(1)」P. 387～401
 - 「29 違法収集証拠排除法則(2)」P. 402～9
 - 「30 違法収集証拠排除法則(3)」P. 410～422

辰 巳 法 律 研 究 所

東 京 本 校：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4－3－6

TEL03-3360-3371（代表） ☎ 0120-319059（受講相談）

<http://www.tatsumi.co.jp/>

大 阪 本 校：〒530-0027 大阪市北区堂山町1番5号三共梅田ビル8階 TEL06-6311-0400（代表）